

平成20年6月10日（火）

○議長（中上良隆君） 順番11、1番 岡君。

〔1番（岡 弘悟君）登壇〕

○1番（岡 弘悟君） 通告に従いまして一般質問をさせていただきます。

通告させていただいた事項は2つ。1番、車社会に対応できるまちづくりを。①公共機関・教育施設周辺の一時駐停車場の整備を。②幅4mに満たない市道の拡幅を。③朝夕ラッシュ時に発生する渋滞エリアの対策を。

2番、子どもたちの歯科検診時にフッ素塗布をです。

以上です。よろしくをお願いします。

○議長（中上良隆君） 1番 岡君の一般質問に対する答弁を求めます。

企画部長。

〔企画部長（吉田長司君）登壇〕

○企画部長（吉田長司君） 車社会に対応できるまちづくりに関しまして、1点目の公共機関・教育施設周辺の一時駐停車場の整備についてお答えいたします。

現代社会におけるモータリゼーションの進展は、道路環境や私たちを取り巻くさまざまな生活環境にも影響を及ぼしております。このことは本市においても例外ではなく、例えば駅や幼稚園、保育園周辺などにおける駐停車場の不足は、周辺住民の方々へも影響を与えることとなります。しかしながら、用地取得による駐停車場の整備には膨大な費用が伴うため、これらすべての施設への駐停車場の整備は困難な状況であります。

なお、南海御幸辻駅周辺につきましては、国道371号バイパス建設に伴い、御幸辻駅前広場の整備として都市計画決定を行っており、今後、国道371橋本バイパスの工事進捗にあわせ駅前広場を整備する計画となっております。

また、その一方で、地球温暖化ガス排出抑制の啓発を積極的に行い、公共交通機関を積極的に利用するノーマイカー運動等の実施などによる改善も図ってまいりたいと考えます。

なお、幼保5カ年計画の幼稚園・保育園については、幼保一元化5カ年計画に基づく認定こども園を新設していく中で駐停車場の整備を進めてまいりたいと考えております。

○議長（中上良隆君） 健康福祉部長。

〔健康福祉部長（森本健二君）登壇〕

○健康福祉部長（森本健二君） 次に、子どもたちの歯科検診時にフッ素塗布についてお答えいたします。

本市の場合、乳幼児の健康診査の一環として、1歳8カ月及び3歳6カ月の乳幼児に歯科検診を、1歳10カ月児を対象ににこにこはみがき教室を実施し、虫歯の発見等、歯の状態の把握と口腔衛生全般にわたる知識の啓発を行っております。

議員おただしのフッ素の塗布については、乳幼児の虫歯予防の観点から大変有効な方法であると考えておりますが、高濃度のフッ素塗布は歯科医師の立ち会いが必要となりますので、既に実施している他市の取り組みを参考に現状の検診状況と年齢に応じた方法を検討し、また、にこにこはみがき教室を通じ、家庭で行えるフッ素塗布についても紹介してまいりたいと思いますので、ご理解のほど、よろしくをお願いします。

○議長（中上良隆君） 建設部長。

〔建設部長（樽井豪男君）登壇〕

○建設部長（樽井豪男君） 車社会に対応できるまちづくりの②③の質問にお答えします。

幅4mに満たない市道の幅員につきましては、平成18年度更新現在、本市が管理してお

ります市道の路線数は1,964路線、総延長674.9kmです。そのうち幅員4m以下は935路線、その延長は453.7kmであります。

これらすべてを改良するとなれば、必要な事業用地の寄附協力を得られたとしても、その事業費は膨大な額となります。現在、各区長さまより拡幅・改良工事要望を20路線いただいておりますが、緊急を要する路線、また事業用地の協力を得られた箇所から順次施工しております、本年度は限られた予算の範囲内で7路線を継続で施工する予定をしております。

今後、他の要望箇所につきましても、できる限り早急に対応すべく努力してまいりますので、ご協力のほど、よろしくお願いたします。

次に、朝夕のラッシュ時に発生する渋滞エリアの対策ですが、現在、国道橋本建設事務所で施行中の国道371号バイパス事業が完成すれば、柱本から市内までの沿線付近の渋滞は解消されるものと思われまますので、事業の早期完成のための要望活動を引き続き行ってまいります。

また、例としての慶賀野マクドナルド周辺につきましても、紀見トンネルからマクドナルド前交差点間にある3箇所の信号機の連動時間設定の修正等についても道路管理者である県に要望してまいります。

○議長（中上良隆君）1番 岡君、再質問ありますか。

1番 岡君。

○1番（岡 弘悟君）済みません。非常に簡潔に書き過ぎてわかりづらかった質問事項なんですけれども、①公共機関・教育施設周辺の一時駐停車場の整備をです。特に公共交通機関、諸先輩議員も何度か議会で質問されていたんですけれども、車社会になり、送り迎えの車が非常に多い。林間田園都市、もちろ

ん紀見峠駅から橋本駅までを見ましても、ラッシュ時に非常に混雑している。特に、御幸辻駅、林間田園都市駅、橋本駅周辺。特に橋本駅の場合は、バスのターミナルのところまでたくさんの車をとめてお迎えされているという現状もあります。林間田園都市、橋本駅に関しては、先ほど答弁いただきました公共交通機関、バスなどを利用してノーマイカーデーなどを推し進めていただいで、そういった対応もできると思うんですけども、柱本周辺、紀見峠駅、特に御幸辻駅周辺というのは、そういったバス等は通っておりません。にもかかわらず、地域で住宅の開発がたくさんありまして、送り迎えで非常に混雑しているという状態です。

そこで、今までの諸先輩方がいろいろ質問された等の進捗状況を見ましても、ほとんどそれができない状況。物理的に無理、財政的にも無理なんだというのが非常によくわかるんですが、今後、先ほどもお話ありました国道371号線関連しかり、今、進捗状況が遅れておりますが、橋本駅駅前周辺の再開発などを踏まえて、送り迎えに対する一時駐停車場をとというのも計画に入れていただきたい。御幸辻に対しては駅前広場というお話もあったんですけども、それに対しても明確に駐停車できて、しかも。要望している私がこういうことを言うのはおかしい話なんですけれども、そこで不法に駐車される車が増えても非常に困る。そういった場合も考えて、やはり橋本駅前にあるような、30分は無料ですけども、30分以降からは料金が取れるような形のパーキングの設立の計画などをこれから推し進めていただいでほしいんです。これは要望です。

あと、現状の教育施設周辺というのは、いろいろ市内を見させてもらったんですけども、実際、送り迎えの車に何らかの対応をさ

れている幼稚園・保育園の施設はあるんですけども、道にとめられているというのが実情です。私、御幸辻に住んでいる者なので御幸辻をよく見てしまうんですけども、紀見幼稚園の場合は、構造上、道のどん詰まりになっていて車が入れない。そこへたくさんの車が入ってしまうと、奥でUターンできないんです。それで仕方なくわき道に入って抜けていく方法をとるんですけども、近隣の方から非常に危ないということで、今、お車でお迎えに来られている方の待たれている場所を変えたんですけども、そこもやはり。御幸辻というのは非常に狭いところなので。それはもちろん御幸辻に限っていることではないと思うんです。ほかの幼稚園・保育園の関係の方もそうなんですけれども、そういったものに対して臨時的駐車場を市として探して借り上げていただけないものなんでしょうかね。いろいろお話をお聞きしたら、現場の方は、「いや、あそこ、借りるお話はしているんですけども」と、そういうお話を聞くんです。市当局のほうからはそういったお話はされていないんですか。

○議長（中上良隆君）企画部長。

○企画部長（吉田長司君）保育園関係で特に承知しておるんですけども、個別に、東保育園にしろ、柏原保育園にしろ、また、すみだ保育園にしろ、借地をして対応している。それは、一定の状況を踏まえた中で地主さんとの交渉の中で、借りれるものについては借りていくような形で進めてきた経緯がございます。

それで、幼稚園につきましても、幼稚園、基本的には送迎はしないわけでございますけれども、そういうことで設立もしにくい状況がございます。車が入りにくいという幼稚園もございます。特に紀見幼稚園なんかでしたら、利便性が非常に悪いということでありま

すので、これにつきましては、この場ですぐできるとか、できないということじゃなしに、もうちょっと担当部局との協議の中で財政とも相談しながら、今後決めていきたいと考えてございます。

○議長（中上良隆君）1番 岡君。

○1番（岡 弘悟君）よろしくお願ひします。確かに、お迎えに車等を使って来られる方、もちろん遠くではないのに、歩けるけれども車で送り迎えされている方もいらっしゃると思うんです。でも、それは今現状、子どもたちに対してまちの中のつながりが希薄になってきているというのも1つの事実なので、それは親御さんたちが心配されるというのも当然のことなので、そういう意味では行政はその部分を受けとめて、やはりその部分をサポートするというのも非常に大切だと僕は思います。

次、②なんですけれども、これも非常にわかりにくい。自分で書いて申しわけないなと思ったんですけども。僕が言いたかったのは、特定地域で中心的に使用されている道です。すべての4m道路ではなくて、やはり、その地域地域。大きな国道、県道、市道、いろいろありますけれども、そうじゃなくて、その地域に行くのにその地域の方が非常に活用されているけれども、非常に狭い道路、そういう意味で書いたんですけども、言葉足らずで申しわけないです。

1,964路線、935路線、いろいろ、ここでデータをいただいたんですけども、主要になる道路というのは、恐らく、先ほど区長から要望があったという数十路線が、やはり、その地域の方が一番活用されていて、しかも対向できないとか、あと、防災上問題があるんじゃないかと思われる道路だと思うんです。それは、もちろん、住んで、そこで生活されている方が一番わかってはることなので、そ

の方の要望が数字に如実にあわれているとは思いません。

もちろん地域の道路なのでそれはそうだと思うんですけども、ただ、これで気になるのは、防災という観点で考えれば、その地域よりも市が中心になってその道路の拡幅をめざしていくべきではないのかなと僕は思います。その地域の方が「いや、そんなに広い道路は。何とかやってきてるし」というお話もあるとは思いますが、もし何か災害が起こったときに、せめて消防車、救急車等が完全に通り抜けできる、もしくは対向できる、そういった状況を最低限つくれるぐらいの道がその地域に1つあってもいいんじゃないかなというのは非常に思うところです。ただ、金額的な部分もありますし、土地の取用に関しても、やはり地域の方との折衝もあります。まとめていただくのはその地域の方で、もちろんこれから進めていってもらわなければいけないとは思いますが、その輪の中にも行政として中心的な役割を担って、そういった防災計画、4m道路というものに関しての必要性をもう少し訴えていっていただきたいと思います。これは要望です。

③です。これ、先ほどおっしゃっていただいたとおり、ほとんど信号機によって引き起こされている渋滞です。僕も仕事、そっち方面へ行きますので、朝のラッシュに巻き込まれるんです。ちょうどラッシュの時間なんですけれども、信号が1つ増えるたびに渋滞が長くなっています。つい最近、矢倉脇のところに信号が1つできたんですけれども、それでまた渋滞が長くなっています。つい最近、三石台から下ってくるほうの路線はましになったかのようにも思えるんですけども、それは気のせいかもしれません。

地域の方からよく聞くのは、これだけ渋滞の期間が長いんだから、もう少し早く、信号

機をつける前にちゃんと統計をとって調べてほしいと。これ、地域の方がおっしゃるのは当然で、その信号を抜けてしまうと、今度、トンネルを抜けるまで渋滞しないんですよ。トンネルを抜けて、次は出合ノ辻という天見の信号まで渋滞しないんです。言え、その3つの信号が完全にネックになって引き起こしている、いわば単純な渋滞なので。

これ、僕も毎朝、いろいろ考えるんですけども、こっちを長くすれば三石のほうが詰まる。三石のほうを長くすれば下が詰まる。もちろん難しい問題だとは思いますが、その辺、データとして信号機の時間を変えただけで、変えたというのは1つの信号ではなくて、3つの時間を操作することによって渋滞がかなり解消されたという例もありますので、その辺、いま一度、早急にやっていただきたいです。

答弁でもしていただけるというふうにはお聞きしたんですけども、もう一つ、それを踏まえて、それを抜けた後の出合ノ辻の信号も、府県間になるんですけども、河内長野市に一度お話ししていただいて調整をしていただければありがたいです。それは難しい。

○議長（中上良隆君）建設部長。

○建設部長（樽井豪男君）まず、信号機につきましては、公安委員会が設定しております、私も以前、7時ごろ、今言うマクドナルドと柱本間、一応、調査ということで写真を撮りに行ったりはしたんですけども、ほんとの時間帯、多分、1時間ぐらいの時間帯の間が非常に込むということでは認識しております。

それと、371が和歌山県側、平成25年ぐらいまでには紀見トンネルまで取用をかけてでもやっていきたいということで、そこで4車線化になれば、トンネルまでの間についてはかなり解消されるんじゃないかと思っております。

す。

それと、出合ノ辻のところなんですけれども、これも向こうは富田林土木の管轄になりまして、向こうも天見までにつきましては、平成25年を目標にしてバイパスを構築したいということは聞いております。そこから紀見トンネル、紀見トンネルの開通がいまだ不鮮明にはなっております。市としては早く開通ということで、市長をはじめ対策委員等も交えて要望してまいっております。

それで、まず、信号につきましては、公安委員会、特に橋本署等を通じまして再度測定していただきまして、調整していただくというような要望をしていきたいと思っております。

以上です。

○議長（中上良隆君）1番 岡君。

○1番（岡 弘悟君）ありがとうございます。

次に移ります。子どもたちの歯科検診時にフッ素塗布をということなんですけれども、一番言いたかったのは、何のための検診かということです。僕は、今、虫歯のことでお話しさせてもろうとるんですけど、その場で虫歯を見つけて早く治療すれば痛みもひどくならないし、歯も大丈夫やということなんですけれども、一番の目的はやはり予防。やはり予防という観点を一番目的にして検診というのは行われるべきではないのかなと僕は思います。

それで、なぜフッ素の話をさせてもらったかということ、もちろん、今、注目されている。虫歯の予防に対しても手軽で、今、検診時には医師が立ち会わなければいけないという話をお聞きしたんですけれども、家庭でも簡単にできると。今、子ども用のフッ素塗布用のチューブを売っているんです。そういったものもこれから広く虫歯の予防のために使っていただくためにも、やはり検診時に行政がフッ素の有効性を確認し、そして、そのフッ素によって現在よりも虫歯の件数がどういった

形で推移するかということも調べて、そしてPRしていくべきではないかと思って質問させてもらったんです。どうなんでしょう。医師等に健診時に来てもらおうと、やはり予算面で合っていないというのが実情なんでしょうか。

○議長（中上良隆君）健康福祉部長。

○健康福祉部長（森本健二君）岡議員の質問にお答えしたいと思います。

今、うちのほうで1歳6カ月の歯科検診の管理報告の中に、19年度の実数なんですけれども、歯科検診のときの歯の状況というんですか、7,198の歯がありまして、そのうち460が虫歯のない方。虫歯のある方は17人で3.6%。罹患率が3.6という報告をいただいております。

それと、今、予防ということで議員からご質問があったんですけれども、橋本市につきまして、10カ月の相談のときに予防として歯の手入れ、食べ物、食べ方についてとか、そういう個別指導というんですかね、歯に関する相談を受けております。

それと、20年度からは新たにはみがき教室ということで、1歳10カ月児にはみがき教室を実施し、その中で、今議員も言われたように、家庭でできるジェルの使い方の指導とかをさせていただいているような状況でございます。

今、議員から、それをすればお医者さんの費用と云々という形で言われていましたけれども、確かにそのとおりでございます。それをするに当たりましては、人数と場所、それとスタッフという形がありまして、私のほうでも河内長野について聞かせていただいたところ、全部で四、五人のスタッフ、そこへお医者さんがついてやられているというのが実情でございます。

橋本市につきましては、それは健診時にやっている関係で、今の状況の中で実施するの

は難しい状況でございます。するのであれば、また別に歯科検診を日を改めて実施するという形になります。そうすると、お医者さんの費用、歯科衛生士に来ていただく費用云々がかかってくるということになるかと思えます。金額については詳細はわかりませんが、そういうことでございます。

以上です。

○議長（中上良隆君）1番 岡君。

○1番（岡 弘悟君）単純な質問で申しわけないんですけど、なぜ同時にできないんですか。場所的な問題なのか、それとも。人的な問題は、最初に歯科医師さんが来られるという部分では重ならないですよ。場所的な問題ということなんでしょうか。

○議長（中上良隆君）健康福祉部長。

○健康福祉部長（森本健二君）私のわかる範囲内では場所的な問題が第一かと思っております。場所と、今言った人と。人というのは、お医者さんの場合もありますし、歯科衛生士のスタッフということもあります。

以上です。

○議長（中上良隆君）1番 岡君。

○1番（岡 弘悟君）いつもこういった質問をすると、財政面のことで最終的には話が終わってしまうんですけども、確かに財政面でと言われると財政的な市の現状、しんどいというのが私も非常にわかる折、そういった無理を言えないというのはわかっているんです。ただ、ここで言いたいのは、本当にいいものは取り入れていっていただける考えというか。新しいものに対してすべて財政的などと言われてしまうと、次、いいものをつくっていくときに何を言っているのか、私としてはわからなくなってしまうんです。

本当に子どもたちの歯のことを考えて、虫歯が少しでも少なくなると、子どもたちが歯医者に行くと痛い思いをしなくて済むのであ

れば、少しお金がかかってもこういったことを進めていってもらってもいいのかなという気はします。

それと、先ほど副市長もおっしゃいましたが、優先順位等の話とか、そういった難しい話は行政のほうで話し合ってもらっているのは非常にわかるんですけども、やはり、今、これから未来に向けて何が必要かというのをこれから考えていただいて、そして、できれば子どもたちの未来のためになること、橋本市が他市に負けない行政サービスを行えるようになるにもそういったものに取り組んでいただけることを切に願って、この質問を終わらせていただきます。

○議長（中上良隆君）これをもって、1番 岡君の一般質問は終わりました。

この際、2時30分まで休憩いたします。

（午後2時13分 休憩）

---